



小鯖小学校だより 9月号

令和3年 9月 2日
山口市立小鯖小学校

【学校教育目標】 確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく生き抜く小鯖っ子の育成

【めざす子ども像】 困：思いやりのある子 空：さわやか元気な子 ば：ばっちり学ぶ子

新学期が始まりました！

校長 高田 修司



いよいよ2学期が始まりました！

4年生では新たに転入生を迎え、そしてどのクラスからも元気な子どもたちの歓声が響いています。



日焼けした子、背が伸びた子、急に大人びた子などなど、いろいろな笑顔が弾けていて、あらためて学校っていいな、と嬉しく頼もしく感じました。

今年の夏休みはお盆頃から雨続きで、小鯖地域では記録的な雨量を観測した日もあるなど、全国各地での大雨による被害のニュースに心を痛めた日々もありました。

その一方で、開催の是非など多くの雑音が飛び交う中で何とか開催にこぎつけた東京オリンピック・パラリンピックですが、選手たちのひたむきに頑張る姿から、多くの感動と幸せを分けてもらった日々もありました。

「一生懸命に頑張る」姿は美しく輝き、純粋に人々の心を動かします。

私たちが一生懸命に頑張るながら、一生懸命に頑張る子どもたちを育てていきたいと思っておりますので、ご指導よろしくお願ひいたします。



引き続き、基本的なコロナ感染防止対策の励行を！



県内のコロナ感染者数が急上昇した8月中旬に、山口県は「デルタ株感染防止集中対策」の実施を決め、8月末には県内の感染状況は「ステージIV」に引き上げられ、集中対策も強化・延長されました。

連日の全国報道では、デルタ株の怖さと感染防止対策、医療機関のひっ迫状況、治療方法の最前線、ワクチン接種や救急搬送などへの対応など、様々な角度から利点や問題点が取り上げられていますが、正直何が正しいんだろう？何がベストなんだろう？という不安や疑問は残ったままのようです。

結局、私たちにできる感染防止対策とは、①こまめな手洗いや手指消毒、②マスクの着用、③むやみに目や口・鼻などを触らない、④規則正しい生活による免疫力の向上、⑤むやみに人混みに行かず3密を避けること、等々であり、改めてそれらを徹底していくことが大切だと考えます。

そして、漠然とした不安や恐れはもちろん、自分や家族を守ろうとする正義感、時として感染者のプライバシーの晒しや自粛警察などの思わぬ暴走を生み出す怖さを自覚し、改めて他者への思いやりの心を大切にしたい、差別や偏見を許さない学校、家庭、地域社会をみんなの力で創っていかねばなりません。



8月22日に予定していた第2回学校運営協議会はやむなく中止とさせていただきましたが、子どもたちが楽しみにしている学校行事や教育活動はこれまでどおり、感染防止対策をしっかりと取りながら開催方法を工夫して、適宜実施していく方向です。



ご家庭でも、朝の検温・健康観察の継続実施と、風邪症状が出た時は登校を控えさせるなど、感染防止対策へのご協力を引き続きよろしくお願ひいたします。